

広報

びがしゅわ

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町

1988=12
No. 405

昭和63年12月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- 中国甘肅省職員本町を視察
- 第2回産業文化祭
- すすむ道路整備
- 東由利、この一年
- 指数97「やや不良」の作柄

▶ 除雪作業中の事故防止などを誓い、十一月十八日に行った安全祈願祭



さあ 出番だ!



▶ 十一月二十五日に降ったどか雪で、昨年より五日早く除雪車が初出動。



▲ 本格的な冬がやってきました。今年も十二台の除雪車と十人のオペレータを配備、快適な冬の生活のために努めます。写真は今シーズン除雪に取り組んでいたオペレータの皆さんですが、キャリアのあるベテランぞろいですが、ご声援とご協力をお願いします。

ようこそ東由利へ

中国甘肅省職員 本町を視察

海外視察団としては初めて、中国甘肅省職員一行三人がこのほど本町を視察しました。

一行は二年後に開かれる予定の「甘肅省文物展」の打ち合わせなどのため十一月九日に秋田市入り、本町へは農村事情視察のため県の推薦を受け、同十一日視察に訪れたものです。

高橋重四郎さんの畜舎を視察する一行



「東由利との友好深めたい」

来町したのは中国甘肅省外事弁公室の谷慶春顧問（六三歳）、同室友好都市担当の齊宝玲氏（四六歳）、同室通訳担当の孟軍氏（二三歳）で、日本では外務省にあたる立場の方々です。三氏とも日本へは数回訪れたことがあり、谷氏は本県と同省が友好提携した五十七年八月以来六年ぶりの来県です。また三氏は畠山町長と、町長が昨年九月末から十月上旬にかけ同省を友好訪問して以来一年ぶりの再会となりました。

当日はときおり雪が降るあいにくの天候でしたが、一行は予定通り午前十一時県企画調整課田中主席課長補佐に伴われ本町入り。役

場前で町三役以下全職員が出迎え、畠山町長と三氏はしっかりと握手、再会を喜び合いました。

役場応接室では町長が町の概要などを説明、質問に答えました。また、谷氏は三役に掛け軸をプレゼント、町からは桐こけしをプレゼントするなど友好を温めました。

このあと、朴の木沢放牧場視察の予定を降雪のため変更し、本町畜産のモデル農家として遠藤正輝さん（館西）の畜舎、出羽丘陵開発事業のモデル畜舎として高橋重四郎さん（館合新田）の畜舎を視察したほか、町誘致企業秋田信英（株）、町特別養護老人ホーム東光苑を視察。引き続き、昼食を兼ねた

役場応接室で町三役らと友好を温め合う、左から谷、齊、孟の三氏



懇親会を小料理店赤坂（上通）で行いました。

懇親会で谷氏は「産業のバランスがよくとられ、しかも環境にも恵まれ、なかなか良いところ」と印象を述べ、本町が過疎化に悩んでいることについて「農村人口の減少、都市の過密化は世界的な問題。解決のためには工業導入による就労の場の確保、農業のレベルアップが必要ではないか」と述べました。また友好について「皆さんの熱烈的な歓迎に感謝している。今後も日中の友好はますます盛んになるであろう。東由利町と中国の友好もこれを機会にもっと深めていきたい。町民の皆さんにこのことをぜひ伝えてほしい」と述べ、午後二時前、懇親会場をあとに再び秋田市へと向かいました。

中国の国政を担う職員一行の本町視察は、本町と中国との距離を大きく縮め、今後ますます進展する国際化社会に向け一歩前進が図られたものです。これを機会に私たちは中国についてもっと学び、他にさきがけ真に日中友好の輪を広げていきたいものです。

おかげさまで知事表彰

町・県民税連続完納25年を記録

町・県民税を二
十五年間続けて期
限内に納めたこと
などにより、この
ほど本町が秋田県
知事から表彰され
ました。

町・県民税はサ
ラリーマンなどは
給料から差し引か
れますが、それ以
外は金融機関など
に直接出向いて納
めることなどから
期限内の納税がど
この町村でもスム

ーズにいかないのが実情です。こ
れを本町では昭和三十六年度から
六十二年度まで二十五年間、期限
内（毎年五月末）に納めてきまし
た。これは町民の納税に対する意
識の高さなどにほかならず、町民
の誇りです。

今回優良納税市町村として表彰
されたのは、本町のほか本町と同
じ二十五年連続完納の由利郡岩城
町、十年の仙北郡中仙町、三年の
同南外村の四町村で、二十五年は
県内で初めての記録です。



伝達式で柳田由利地方部長(左)から表
彰状と記念品を受け取る畠山町長(右)

彰状と記念品のワープロが、県知
事からの伝達で贈られました。
今後とも期限内の納税が継続さ
れるよう、町民の皆さんのご協力
をお願いします。

150人が竣工を祝う

法内・宮上地区土地改良総合整備事業など竣工

法内地区及び宮
上の前、上里地区の、
農道や水田の用水
路、暗渠排水など
を整備した「法内・
宮上地区土地改良
総合整備事業」と、
大台地区の道路を
整備した「大台地
区団体営農道整備
事業」の竣工祝賀
会が、十一月一日
有鄰館で行われま
した。



150人が出席して行われた竣工式

法内・宮上地区
土地改良総合整備
事業は昭和五十四
年に着工、六十二
年までに法内と宮
上の前、上里地区水
田の暗渠排水、農

約二億三千万円で整備したもので
す。
祝賀会には受益者、県、町関係
者など百五十人が出席、事業の竣
工を祝い合いました。

このたび、役員改選により県
過疎地域振興協議会副会長に推
されその任に就くこととなった。
現行過疎法の時間切れを明年
度にひかえ、新規立法実現のた
めの動きが急であるとき……。責
任ある立場となり、身の引き締
まる思いである。

去る十月二十九日から三日間

「第一回全国過疎問題シンポジ
ウム」が鹿児島県下で催され、
十一月九日には「過疎地域振興
のための新規立法実現北海道・
東北決起大会」が、東京都で催

町長 随想

過疎地域再生に思う

レードの観である。

現行過疎法は、昭和四十五年に
議員立法として制定以来、地域振
興のために相当の成果をあげてい
る。しかしながら現状は、まだこ

をかかえている。過疎地域再生の
ために、引続き新規立法を強く望
み、渴望しているいま、地域の深
刻な現実を、情熱を持って国政の
場に反映させなければと思う。

町長 畠山 亮三郎
いる人が田舎もんに見えた。私は
田舎にあこがれ、田舎のある人を
うらやましかつた。いま、千葉県
下に住み、田舎の良さが身にしみ
てわかる……と。問題は就労の場

の確保であろう。鹿児島島のシン
ポジウムでは、温泉の町が過疎
になったとの嘆きが聞かれた。
町づくりと過疎問題は不可分。
若者たちが、自らのふるさとを
誇れるような町づくりが進まな
ければ、町を出ていくであろう。
：都会で一生暮らしたいと言う
若者が数少ないのに……。

ふるさとを見直す時代がいま
そこに来ている。若者が住む生
活条件の整備を急がなければ……
「住んでみたい町づくり」の理
想に向かつて……。

第2回 町民の力作が勢揃い



▲農産物展など16部門が展示されたメイン会場の健康増進センター



▲人目を引いた缶詰、びん詰などの農産加工品展



▲「園芸展」には手塩に掛けて造り上げた見事な花きがズラリ

悪天候も 観客は四千人

収穫そして芸術の秋…。
今年一年町民が取り組んできた

生産や各種文化活動の成果を発表・
展示し、交流を深め合う「第二回
東由利町産業文化祭」が十月二十
九日から二日間、健康増進センタ
ーと有隣館などを会場に開かれま
した。

頼みの綱だった天気は開催前日
からくずれはじめ、期間中は両日
ともみぞれ混じりの雨が降るあい
にくの天気。しかし、会場には二
日間で延べ四千人を超す観客が詰
め掛け、ずらりと並べられた町民

の力作に、熱心に見入っていまし
た。

今年の展示部門は、農産物展、
町内企業展、発明工夫展など二十
三部門で、審査の結果十二点に町
長賞、二十二点に農協長賞が贈ら
れました。(受賞一覧を下記に記
載)

また期間中は、稲作検討会や航
空防除反省会、映画会、ステージ
発表が行われ好評を博したほか、
食堂・喫茶、もちつき大会、歯科
衛生指導などが行われ、産業文化
祭の盛り上げ役を買いました。

入賞者一覧

町長賞、農協長賞及び発明工
夫展の入賞者は次の通りです。
以下敬称を省略。

一般展示物

●町長賞

- 金子 拓雄(キャベツ・新町)
- 畠山 ヨシ(びん詰・館合新田)
- 小松 由佳(りんご・新町)
- 畠山孝太郎(工芸品・館合新田)
- 畠山信二郎(菊・館合新田)
- 伊東 隆悦(乾し草・蔵新田)
- 小松トミ子(葉たばこ・石高)
- 小松 武(写真・五海保)
- 斉藤 幸悦(愛石・畑村)
- 莊野トクミ(衣服手芸・下小路)
- 遠藤キヨエ(老人作品・十二の
前)

●農協長賞(一等賞のみ)

- 金子 拓雄(キャベツ・新町)
- 小松 茂穂(白菜・新町)
- 佐藤 シゲ(人参・下小路)
- 小野 淳子(長芋・宿)
- 嶽石 忠司(大豆・八日町)
- 小松 幸男(葉たばこ・石高)
- 小松 賢(同・館合新田)
- 小松トミ子(同・石高)
- 畠山信二郎(菊・館合新田)
- 伊東 隆悦(乾し草・蔵新田)
- 畠山 耕輔(りんご・館合新田)
- 小松 由佳(同・新町)
- 佐藤太一郎(赤すもも酒・新処)
- 高橋ナツエ(梅酒・智者鶴)

さようなら、内山先生 58年の医業生活を終え離町

歯科医として長年本町の医療保健業務に従事されてきた内山三郎先生（八八歳）が、このほど仕事をやめられ、ミエ子夫人と共に千葉県に転出なされました。

先生は昭和五年本町に初の歯科医院を開業、以来実に五十八年にわたり本町医療保健の向上に尽くしてこられました。特に、開業当時は農村の恐慌が著しく、生活の貧しい人に対しては無料で診療されるなど、人情味あふれる人柄は広く町民から尊敬と信頼を受けて

こられました。また、学校医や国民健康保険運営協議会委員を積極的に担われるなど、本町保健行政の進展に多大な功績を残しておられます。

先生ご夫妻は十月三十一日に、「皆さんよろしく」と役場に電話を入れられたあと、そのまま町を離れられ、現在千葉県東葛飾郡沼南町に住む長女夫婦のもとで暮らし続けておられます。



11月9日畠山町長が上京し内山先生に感謝状と記念品を贈呈

日に上京し先生ご夫妻を訪問。これまでの功績に対しお礼を述べ、感謝状とささやかな記念品を贈りました。これに対し先生は「いず

れお世話になることがあるかも知れないので東光苑に」と、畠山町長に十万円を託されました。また先生は、「町民の皆さんには本当にお世話になりました。省みれば長いようで短かった五十八年でした。しかし、私が開業当時に生まれた子どもが五十八歳にもなっていることなどを思えば、月日の流れをつくづくと思ひ知らされます。皆さんにあいさつ状を書きたいのですが、高齢のため失礼させていただくことをお許し願います。どうぞ皆さんにくれぐれもよろしくお伝えください」と述べられました。

人生の大方を、本町の医療保健に捧げてこられた内山先生ご夫妻のご健勝を、町民みんなで心からお祈りしたいと思います。



▲ステージ発表では歌、踊りなどを華やかに展開



▲模造の住居址が人気を呼んだ「歴史資料展」



▲保健婦が大奮闘の「歯科衛生指導コーナー」



▲県内に2頭しかいないというポニーも登場、会場の盛り上げにひと役



発明工夫展展示場

発明工夫展

- 町長賞（学校賞）
 - 高瀬小学校
 - 県知事賞
 - 大日向将也（高瀬小6年）
 - 発明協会秋田県支部長賞
 - 伊東 喜隆（高瀬小1年）
 - 長谷山まり子（大琴小5年）
 - 畠山孝太郎（工芸品・館合新田）
 - 茂沢
 - 伊東リツ子（つけもの・島）
 - 畠山東市郎（ヤマメあずま焼き・
 - 佐藤 ワカ（同・時雨山）
 - 高橋フサ子（びん詰・館合新田）
 - 阿部 雪子（しそ酒・蔵）
- 以下「金賞」受賞者
- 小松 美鈴（高瀬小3年）
 - 鈴木 都誠（同3年）
 - 工藤 基嗣（同5年）
 - 阿部 敏行（同3年）
 - 小松 喜美（八塩小1年）
 - 阿部 泉（高瀬小2年）
 - 嶽石 文悟（八塩小2年）
 - 佐藤 冬樹（同3年）
 - 工藤 恵（高瀬小6年）

道路整備

住み良い町の基盤づくりは何といっても道路整備。鉄道を持たない本町にとって、国・県道はじめ集落道の早期整備は全町民の大きな願いです。

さて、今年はこの道路整備がどれだけ進んだでしょう。毎年この時期お知らせしている「すすむ道路整備」。今年も由利土木事務所と町の建設課から取材してみました。

国道 奥ヶ沢工区が本格着工 来年秋にはバイパス開通

鉄道にかわる町の大動脈国道一〇七号線は、宿工区（横渡～宿間）の改良工事が昨年から、奥ヶ沢工区（宿～奥ヶ沢間）が今年から本格的に進められています。宿工区は横渡～火葬場間の舗装がこのほど完成、残る火葬場～宿間は来年秋までには完成する見通しです。奥ヶ沢工区は宿～大琴間のバイパス工が進み、この間に架かる

二つの橋が年度内には完成、来年秋までにはこのバイパスを通ることができる見通しです。

また、大琴～舟木間は用地買収が済み、来年度から工事が始められる予定です。終点の奥ヶ沢までのトンネル二カ所を含む全線の完成は、高速道路秋田線の開通が予定されている昭和六十八年頃と見込まれています。



来秋開通予定の宿～大琴間バイパス

県道 須郷田、館合間が具体化 田代地内未改良は来年着工

仁賀保矢島館合線

仁賀保町から矢島町、本町茶屋長根を通って八日町に至るこの道路は、須郷田～館合、沢中～大吹川、大吹川～茶屋長根間が未改良で、早期着工を県に要望しています。須郷田～館合間はこのほど基本ルート（計画設計）が決まり、十一月十六日に地区住民との説明会を開くと共に、同二十二日から関係集落別協議会を実施しています。今後、地権者のご協力をいただきながら詳細設計を行い、来年度から用地買収に入る予定です。沢中～大吹川間は地滑り地帯のため引き続き調査中ですが、来年度に現道の舗装ができるよう予算を要望中です。また大吹川～須郷間は現道の一部百二十メートルを舗装しました。

羽後向田館合線

羽後町から本町向田を通って八日町に至るこの道路（田代～館合）は、田代地内の一部と黒淵～羽後町が未改良となっていますが、田代地内はこのほど用地交渉が成立し来年度に着工する予定です。黒淵～羽後町間については現在県に改良を強く要望しており、早期着工が望まれるところです。

山崎鴻屋十文字線

本町山崎から松柴を通って羽後町唐松に抜けるこの道路は、田屋橋から約五百二十メートルが未改良となっていました。今年約五百メートルを改良、約七十メートルを舗装しました。残りは来年度、田屋橋の架け替えと共に改良・舗装する予定です。

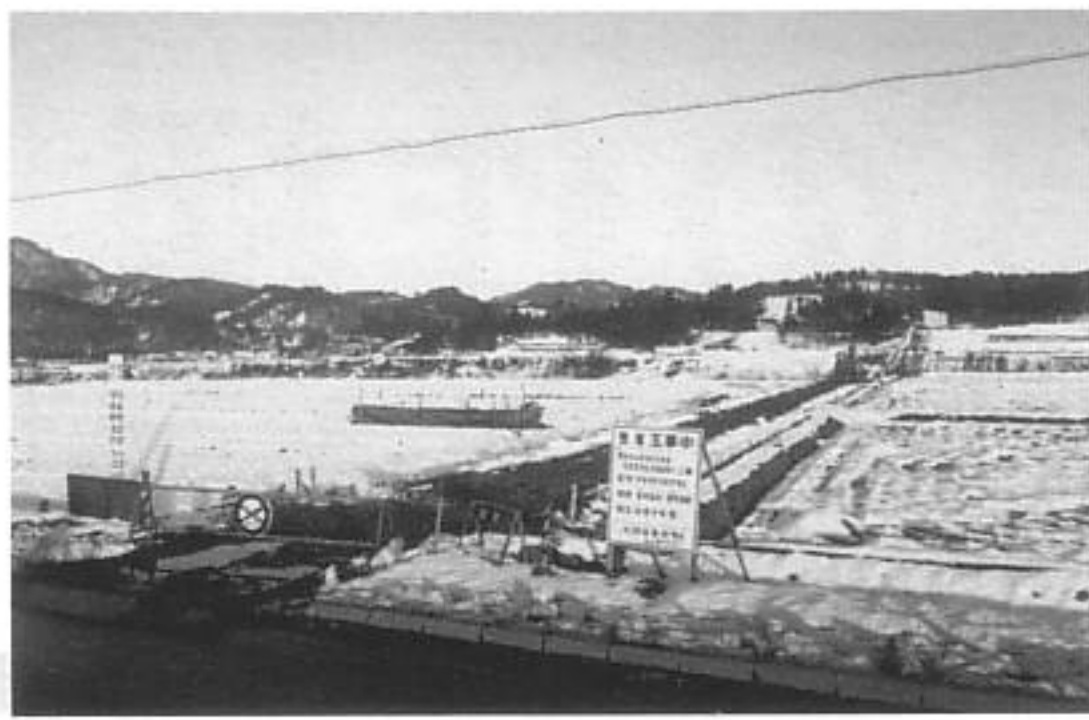
また今年、松柴集落から羽後町境界までの千二百六十五メートル、約六百十五メートルを現道のまま改良・舗装しました。残る六百五十分は来年度に完成する予定です。

横手東由利線

横手市から平鹿郡雄物川町を通って本町祝沢、老方に至るこの道路は、祝沢～老方間の現道舗装を昭和五十九年までに完了。現在、期成同盟会による現地調査が行われるなど、第二次改良に向けた準備が進められています。

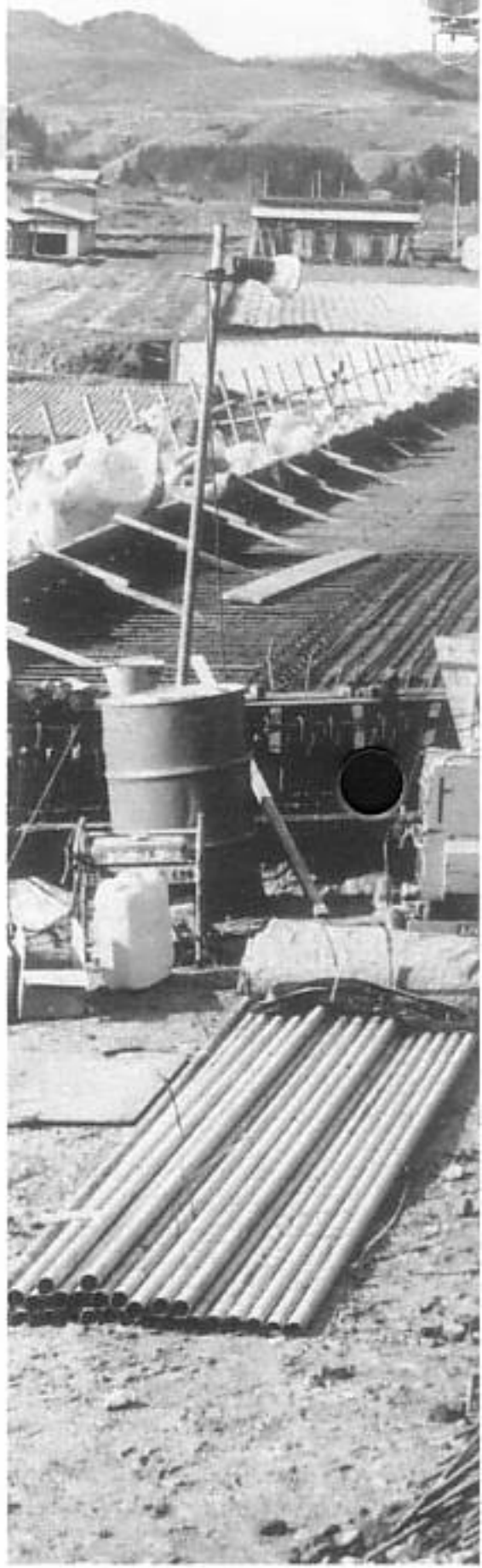
神岡坂部横渡線

仙北郡神岡町から平鹿郡大森町坂部を通って本町中の沢、横渡に至るこの道路は、昨年の白沢トンネル開通によって幹線道路としての利用率がますます高まっています。このため未改良となっています。岩館バイパスの早期着工が望まれており、現在、基本ルート決定の



改良中の両前寺・湯出野線

すすむ



ための準備が進められています。予定通り準備が進めば、六十五年の着工が見込まれています。

梶淵横渡線

横渡から黒沢、若林を通って大内町横淵に抜けるこの道路は、黒沢・若林間を現道の改良・舗装で

完成すると今後は黒沢トンネルの改良が課題となり、町では早期着工を県に強く要望しています。

町道等

今年度は33ヶ所を整備 町道高村線は今月全面復旧

町道や農道、林道の整備は今年左記の三十三ヶ所で行われ、十一月中旬まで二十ヶ所が完成しました。このほかは本格的な降雪前の完成を目指し、急ピッチで工事が進められています。

集落内の道路は上里線、西山線、高戸屋線、片越山本線、大琴下線などの改良・舗装がすでに完成したほか、現在寺田・湯出野線、喰沢線、金山線などを改良中です。町道高村線は土砂崩れで四月二

十六日から全面通行止めとなり、予定されていた改良・舗装工事が来年度に持ち越されました。なお、同線は十一月七日に片側通行ができるようになり、今月中旬には全面復旧する見通しです。

農道は、八塩ダムへの連絡道でもある深山線の舗装が完成したほか、現在坪倉線、杉森線などを改良中です。



舗装が完成した片越山本線



舗装が完成した西山線

「里道」を調査中

林道は荒沢川線、矢走線が今年度予定の改良工事を終えました。

町では町道などの整備と合わせ、今後整備が必要とされる「里道」の調査を始めました。すでに百ヶ所の調査を行っています。約八ヶ所の里道を調査し台帳を作成していますが、調査漏れも考えられ、町の議員に追加個所の選定を依頼しています。お伺いの際にはご協力をお願いします。

●町道・農道

11月20日現在

地区(路線名)	施工カ所	距離	内容	進捗状況
上里線	上里	534 ^m	舗装	100%
同	同	68	改良・舗装	100
寺田・湯出野線	寺田	333	改良	30
熊高沢線	石高	388	〃	10
西山線	西山	380	舗装	100
須郷田・跡見坂線	館合新田	用地買収、補償		100
金山線	沼	240	改良	80
大琴下線	大琴	141	舗装	100
大台2号線	大台	531	〃	100
高戸屋線	高戸屋	153	〃	100
善徳線	松沢	716	改良	30
喰沢線	館合新田	330	〃	30
新町線	新町	120	〃	80
八沢本地区	八沢木	219	〃	80
坪倉線	坪倉	418	〃	60
深山線	深山	1,278	舗装	90
同・Ⅱ期	同1工区	400	改良	100
	同2工区	414		50
鞍骨線	鞍骨	260	〃	%発注
杉森線	杉森	360	〃	10
沖田線	沖田	795	改良・舗装	100
田代線	田代	249	改良	100
同	同	312	舗装	100
冷沢線	冷沢	299	〃	100
片越山本線	山崎	785	〃	100
大吹川線	大吹川	111	〃	100
両前寺・湯出野線	湯出野	349	改良	30
中祝沢線	祝沢	196	〃	100
ザラメキ線	ザラメキ	58	護岸工	100
後町線	後町	44	改良	100

●林道

地区(路線名)	施工カ所	距離	内容	進捗状況
荒沢川線	荒沢川	500 ^m	改良	100%
軽井沢1号線	桃台	500	舗装	80
牧山線	牧山	100	改良	100
矢走線	矢走	1,000	〃	100

昭和五十六年以来の不作となった今年の稲作



東北、北関東で、夏以降の低温、日照不足、長雨などが原因の、史上三番目といわれる稲作の被害が発生しています。

本町でも、稲の刈り取りが進むにつれ作柄の不良が表面化、出荷状況などから昭和五十六年以来の不作が見込まれています。町農業総合指導センターではこれまでの出荷状況から、十割当りの平均収量を五百二十五キと推計、これより作況指数を「九七」の「やや不良」と判定しています。

全体としては大きな不作にはならなかったものの、個別には平年作をかなり下回った農家もいます。このため被害農家の救済措置が緊急の課題となり、十一月二十二日には国が天災融資法と激甚災害法を発動したことなどから、現在町では被害実態の調査を進めています。

被害額は約三千三百万円

町農業総合指導センターによると、十一月二十八日までに出荷された米は十三万四千四百九十袋（三十キ袋）で、今年の政府売り渡し限度数量の十三万八千四百六袋に対して三千九百十六袋少ないことから、三千三百万円余りの減収になるものと見ています。

出荷米の等級比率は、一等米が十二万三千四百九十九袋で九一・八割、二等米が九千九百四十袋で七・四割、三等米が千五百一十一袋で〇・八割となり、三等米がやや増えたものの全体的に平年並の等級となっています。

共済対象農家は63戸

全体的には平年作をやや下回る結果となったものの、農家個別に大きな開きがみられたのが本町の

冷害の特徴で、例年より三〇割以上減収したという農家もいます。こうした農家には水稲災害共済金が支払われることになり、県共済組合連合会の実測調査などによって損害額を計算、現在国の認定を

冷害は二年続けてやってくる

五十六年来の冷害の要因を、本町農業改良普及所の発表などからまとめてみました。

▽成育初期Ⅱ連日低温で日照も少なく活着不良により成育に遅れ▽成育中期Ⅱ全般に気温は高めで分

待っているところです。これまでの調べでは、本町では六十三戸の農家が対象となり約千三百万円の共済金が見込まれています。

また、天災資金などを利用する農家には、できるだけ早く貸し付けができるよう、現在被害認定などの事務を進めています。

た▽登熟期Ⅱ八月は高温多照で急速に登熟が進んだが下旬は日照が減り夜間の最低気温が高かったため登熟が進まなかった。

これらの対策としては▽環境に応じた品種の適性配置▽土地、土壌基盤の改善▽地力の増強▽健苗育成による初期成育の確保▽適性な施肥と病害虫防除などがあげられています。

冷害は二年続けてやってくる」ともいわれていることから、町農業総合指導センターでは、来年にそなえ基本技術を見直しておくことが必要だとしています。

また、ササニシキの被害が少なかったことから、来年この作付けが増え、あきたこまちが減ることを心配。「ササニシキの被害が少なかったのは成育の遅れで障害不稔を逃れたことなどによるもので、冷害に強い品種とは限らない」とし、技術指導の徹底で今後ともあきたこまちの拡大を図っていききたいとしています。

●年次別産米出荷状況等

年次	作付面積 ha	限度数量 袋	出荷数量 袋	10アール当 り収量 kg	作況指数
63	930	138,406	134,490 (%現在)	525 (推計)	97 (推計)
62	957	71,352	79,416	588	110
61	987	76,769	84,988	570	107
60	992	77,547	86,949	572	108
59	994	76,769	84,531	568	107
58	988	76,139	75,130	527	99
57	985	74,592	77,596	551	104
56	980	73,863	62,821	472	89
55	1,050	76,896	73,959	497	95
54	1,040	76,459	73,620	502	96
53	1,010	75,759	80,682	556	107
52	1,060	79,298	81,504	542	104
51	1,060	78,556	70,654	462	89
50	1,030	80,306	86,511	563	110
49	1,040	81,720	86,697	539	107
48	1,030	78,000	80,544	530	105
47	985	74,833	67,182	487	97
46	980	71,330	62,181	456	91

※63年度の限度数量、出荷数量は30kg 袋によるもの。

十二月は忘年会などが相次ぎ、お酒と出会う機会が増えます。

「少ししか飲まなかったから」とか「酔いがさめたから」などとハズルを握り、思わぬ事故にあってケースも少なくありません。

また、年末年始を控え、オーバーワークとなり、どっと疲労がたまる時期でもあります。

そこで、見落としがちな過労運転の恐ろしさについて、早稲田大学の黒田勲教授にお話ししていただきます。

以下は黒田教授の談話です。

疲労度を測る 物差しを持つ

いったい今の若者は、ほんとうの意味での過労ということを知っているのかどうかとなると、甚だ疑問に思われます。

東由利歴史散歩

文・畑山昭二(町史編集室)

こんなににある 東由利の遺跡 大事にしよう 私たちの文化遺産



宿字ザラメキ地内の三升刈遺跡

No	遺跡名	所在地	現況	所有者
1	周治谷地Ⅰ	黒淵字周治谷地一の一の三	畑	高橋タミエ
2	〃Ⅱ	〃 一一の五	原野	東由利町
3	智者鶴	〃 境田三九の四	宅地	高橋優一
4	下松台	〃 下松台三五の四ほか	宅地ほか	高橋信吉
5	野中	〃 石田二〇ほか	田・畑	佐藤新市ほか
6	向山	館合字向山四九の四	畑	小松三治郎ほか
7	岩井堂	〃 岩井戸山二	山林	鈴木宇助
8	善徳	〃 善徳二五	畑	佐藤秋男
9	台山Ⅰ	老方字台山六九の一	畑	島山満康
10	〃Ⅱ	〃 台山五九ほか	畑	東由利町
11	高薬師	〃 高薬師三三ほか	山林	小松仁一ほか

本町には先住民族の生活跡を示す遺跡が多くあり、そのうち前号まで正式に発掘調査した所を四カ所紹介しましたが、「遺物包含地」として登録されている所は次のようになっています。(敬称略)

No	遺跡名	所在地	現況	所有者
12	岩坂	〃 西の浜一四の二	畑	小松トミ
13	西の浜台地	〃	畑	長沢 毅
14	宮の前	法内字宮の前一四一の二	畑	阿部竹雄
15	田子の沢	蔵字田子の沢四〇の一〇	畑ほか	小野秋次郎
16	岩館Ⅰ・Ⅱ	〃 岩館六九・一二の一	畑ほか	阿部 仁ほか
17	坊主ヶ沢	〃 坊主ヶ沢四六	畑	阿部 明
18	根城Ⅰ・Ⅱ	〃 根城六九の一ほか	畑	伊東栄喜ほか
19	十二ヶ台	法内字十二ヶ台	田	佐藤長一
20	上台	宿字上台二六の一の七	畑	佐々木隆義
21	三升刈	〃 ザラメキ六〇の二	田	佐々木正男
22	中台	杉森字中台二	畑ほか	鈴木正夫

これらの遺跡の大部分は現況が耕地で手が加えられています。町の文化遺産として大事にしたいものです。これで先史時代を終えます。

飲酒と過労はドライバーの大敵

年末年始の 十五分の仮眠があなたを守る

早稲田大学人間科学部教授・医学博士 黒田 勲

昔は経済的にもたいへん貧しかったから、朝から晩まで働いて、それこそ仕事から帰ればバタンキューの生活でした。体の芯まで疲れるということを、よくよく体得していたんです。ところが、いまの若者にはそれがありません。あの物差しが依然として働いている

つまり、自分のからだの疲労に对する物差しが皆目ないわけですよ。

事故の背後につきまとう、過労や寝不足

自動車の事故の原因は、ふつう信号無視、前方不注意、あるいはわ

っても、それは遊びのうえでの疲労です。友達とドライブにいったとか、あるいはサーフィンをしたとか、そういう遊びのうえでの疲労しか知らないから、いったい自分はどこまでくたびれているかわからないわけです。

からなんです。自分はまだ若いんだ、この気持ちは大切なんですが、クルマを運転する時には逆作用の働きとなるんです。いわゆる自分の物差しが狂ってきているわけですから、いったい自分がどこまでだつたら疲労の限界に耐

き見運転とかいわれていますが、これは表面的な事由であって、その背後には過労や寝不足がたいていつきまどっているものなんです。くたびれ果てて運転した場合、どうなるかといえますと、次のような行動が認められるようになります。

そこには、ここまで運転してきたのだから、あともう少し、もう少しだ、という気持ちをたちきる意志が何より大切です。それが過労運転からあなたを守る唯一の方法なんです。

このような徴候が少しでも現れたら危険信号です。あとは休むしかありません。高速道路ならサービスエリアでもいいし、あるいは車を止められる所であればどこでもいい、十分か十五分の仮眠で、人間の疲労はずいぶん回復するものなのです。

▼ブレーキの踏み方が甘くなる▼イライラする▼コックリ、コックリと居眠りをする▼同乗者と話しをするのがイヤになる▼座り心地が悪くてイスをしきりに直そうとする…。

東由利、この一年

今年の主な出来事

今年も残すところあと一カ月となりました。

「昭和六十三年」あなたにとってどんな年でしたか？

「子どもが生まれた」「家を建てた」「病気で入院した」

「結婚した」など、さまざまなおことがあったと思います。

さて町はというと、なんといっても出羽丘陵開発事業が完工したことではないでしょうか。それに町議会議員の選挙もありました。

さて、ここでは毎年のことですが、今年一年を広報紙の記事の中で振り返ってみようと思います。主な出来事を月ごとに整理し、さらに大きな出来事を「五大ニュース」として写真で拾ってみました。

今年一年を振り返り、明るい新年をお迎えください。

出羽丘陵開発事業完工式



出羽丘陵開発事業完工式（大森町）

秋田県町村会定期大会



全国町村会会長表彰の伝達式

1

6日・消防出初式：二十五年勤続章など七十人に表彰状、退職団員など十五人に感謝状が贈られる。
●優良町として全国町村会より栄えある表彰を受ける。

2

6日・第一回町民綱引き大会：十八チーム参加。優勝は新町（男子）と横小路（女子）。
13日・畜産講演会：秋田県農協五連会長佐藤秀一氏が畜産の現状と将来展望などについて講演。二百余人が参加。
20、21日・第四回大平雪まつり：好天に恵まれ四千人が入場。打ち上げ花火が新登場し人気を呼ぶ。

4

22日・自治会長会議：三年連続納期内完納の自治会など七団体一個人を表彰。
24日・春季大防火訓練：館合地区を会場に町消防団員三百人とポンプ車二十五台が出動。本荘署からは屈折はしご車も出動。
24日・全町クリーンアップ：千人を超す町民が参加。約十トンのごみを回収。
26日・高村線で土砂崩れ：高村、ザッコ又の八世帯四十人が一時孤立状態となり、二十七日に小中学生八人が休校。
27日・台山区緑地公園化事業：東中自転車置場、朋楽荘がけ地にツツジ三千七百本、アジサイ五十本を植栽。
●保健福祉車購入：二十九人乗りマイクロスバス。愛称は「けんこう号」。

5

14日・第四回黄桜まつり：五千七百人が入場。初代ミス黄桜に佐藤美由希さん決定。
●「道中案内処」設置：商店先など十二カ所に。

6

20日・第三十三回町畜産共進会：八十頭出陳。十産以上の牛五十四頭を多産牛として表彰。
21、23日・町敬老会：四百六十人が出席。二十三人に長寿祝い金贈呈。

7

1日・広報ひがしゆり第四〇号発行
10日・町議会議員選挙実施：現職十二人、元議員一人、新入五人が当選。投票率は九四・九一％。
17日・町消防大会：総合優勝は五分団。



由利畜産共進会団体優勝の優勝旗などの数々



町議会議員選挙の投票

5大ニュース



3年ぶりにオープンした朴の木沢放牧場



優良町として全国表彰される
町議会議員の選挙を実施
由利畜産共進会で初の団体優勝
朴の木沢放牧場が3年ぶりにオープン
出羽丘陵開発事業が完工した

(広報掲載順)

11

1日・法内・宮上地区土地改良総合整備事業、大台地区団体営農道整備事業竣工式：百五十人出席。
3日・町功労者表彰式：小松与惣雄、太田千代三の二氏に。
6日・永慶保育園創立三十周年記念式典：二百五十人出席。

11日・中国甘肅省職員が本町を視察：海外視察団としては初。畜舎、誘致企業、特別養護老人ホームなどを視察。
●優良納税町として知事表彰：町・県民税連続完納二十五年を記録。

10

23日・八塩小が郡市小学校バスケットボールで準優勝：県大会の出場権を獲得。
26日・出羽丘陵開発事業完工：大森町で除幕式、完工式。

祝賀会開催。
●秋田県国民健康保険団体連合会理事長より表彰
●町のシンボル(花・木・鳥)イメージマークを募集

9

4日・県共進会で畑山藤作さんの和牛、畑山克司さんの乳牛に優等賞。九頭出陳。
11日・大琴小礎石百一年現校舎落成十周年記念式典：三百人が出席し祝う。
12日・朴の木沢放牧場開牧：

牛舎、監視舎を設備し三年ぶりに開牧。
18日・高瀬小創立五年記念式典：四百人が出席。
27日・交通安全町民大会：交通事故死亡ゼロ七百日達成。

8

4日・知事訪問：東光苑、八塩ダムなどを視察。
12日・航空防除(二回目)
15日・町成人式：七十九人が対象。
15日・ふるさと交流：六十人が参加。
16日・第三十回町社会人野球大会：二十回以上出場の

五チームを表彰、大会に貢献の五人に感謝状を贈呈。
20日・航空防除(三回目)
20日・町追悼式
28日・第二十回町民運動会：午後から雨にみまわれる。家の下と大琴が同点総合優勝。
●助役に畑山良一氏を再選

20日・由利家畜共進会で初団体優勝：二十七頭を出陳。乳用部門で優勝、肉用牛部門で

準優勝。
31日・航空防除(一回目)



新たな飛躍を誓う

永慶保育園が満30歳に

永慶保育園が創立三十周年を迎えました。

永慶保育園は、昭和三十二年に旧警察部長派出所の払い下げなどで園舎を建設、この年五月に誕生しました。以来五十年には園舎の増築と共に社会福祉法人蔵立会を設立、四月から社会福祉法人の認可保育所として運営されることになりました。その後六十年に園舎を増改築、今年四月には創立来園長を務めてきた阿部寅静氏が勇退



250人が出席して行われた記念式典

し伊藤彦舟氏が就任、現在に至っています。創立来男七百五十八人、女七百二十五人、計千四百八十三人を卒園させています。

記念式典は同園で十一月六日、園児、父兄をはじめ関係者二百五十人が出席して行われ、阿部前園長へ感謝状の贈呈、園へ記念品の贈呈などのほか、スライドの上映や園児による遊戯の発表を行い、満三十歳を迎えた永慶保育園の新たな飛躍を誓い合いました。

西暦二〇〇〇年に 思い出を詰めて

大琴小でタイムカプセル埋設

十二年後の西暦二〇〇〇年に開封する計画で、大琴小学校が十一月三日グラウンドの一角にタイムカプセルを埋設しました。

カプセルの中には児童の作文や図画、写真、ビデオテープなど思い出の品々がぎっしり。埋設式では大庭朋和くんが「十二年後の開封にちよっぴり不安を感じます。でも、いつまでも母校を愛し、誇りを持って生きていくことを約束します」と埋設宣言。佐々木勝敏

校長が「十二年後は大琴小創立二十周年の年です。そのころ皆さんは青年期の厳しい時代を迎えていることと思いますが、開封には全員が集まり、学校時代の思い出や近況を語り合ってください」とあいさつしました。

十二年後児童らは十八〜二十四歳の立派な社会人。カプセルを開けた時、きっと大きな感動が得られることでしょう。ぜひ、みんなが集まってほしいものです。



カプセルに思い出を詰め込む大琴小児童

みんな生き生き

今季東中寄宿舎オープン

今シーズンの東由利中学校冬季寄宿舎が十一月四日、県内のトップを切ってオープンしました。入舎した生徒は通学距離が六キロ以上または冬季通学が容易でない六十四人（男三十七人、女二十一人）で、毎週末に帰宅する以外来

年三月まで団体生活が続きます。県内の冬季寄宿舎は小学校一、中学校十一、小中合同二の計十四カ所で、児童生徒数は二百三十二



寄宿舎から通学する入舎生たち

献血ありがとう

※大宇400cc. 敬称略

大日向 進	小野 利彦	工藤加奈子
畑山 敏	小松 健	島山真由美
大塚 和穂	高橋 富男	遠藤 紗織
島山 英昭	志村 仁	小野 和行
長谷山節男	佐藤 暢子	小松 拓未
小野寺貞子	嶽石 文弥	島山 章
渡辺 祥一	小松 正二	小野 弘通
佐藤 直子	阿部 光治	小野 仁
小野 節子	阿部 弘章	伊東 博美
小野トモ子	島山 明	鈴木 洋子
小松 修一	阿部恵美子	小野 静枝
横山 五一	森 知恵	小松しずえ
佐々木信幸	寅田 敏雄	佐藤サキ子
佐々木良博	阿部 里美	平野 剛

100回献血の高橋さんに銀盃

献血回数が百回になられた高橋政一さん（下小路・63歳）に、このほど日本赤十字社秋田県支部長から感謝状と銀盃が贈られました。ご協力ありがとうございます。

人。東由利中は全体のおよそ四分の一に当たるマンモス寄宿舎です。スケジュールは、朝六時半起床、洗面・清掃し七時朝食、ミーティングし八時登校、そして四時半帰舎、六時夕食、ミーティングし六時五十分入浴、九時から学習時間で、十時半消灯となっています。親元を離れての生活ですが、生徒たちの顔には寂しさはなく、みんな生き生きと生きていました。

ヤングレポート フレッシュマン



高橋 時夫さん (23歳)

久保・東由利農協勤務

年末が近づき休日返上の忙しい毎日を送っている高橋さんは、東由利農協で共済を担当する23歳のフレッシュマン。趣味はスポーツとドライブで、母校西目農業高校では野球部に所属し、県大会でベスト8入りの経験も。町社会人野球大会では強豪の野球狂チームに所属し、今期大会ではサード、三番打者として活躍しました。性格は自分では「気が短く、とっつきにくい…」と話していますが、友人など周囲の評価は「男らしくて、がんばりや…」と上々です。農業に対しては「過酷なほど厳しい状況だが、くじけず、何とかして生きのびてほしい。そのために私たち農協職員も全力を尽くしていきたい」と力強く話していました。

東由利駐在所だより

年末年始は運転免許業務を休止

秋田県運転免許センターでは、自動車運転免許試験の業務を12月29日(木)から新年1月4日(水)まで、更新・再交付などの業務を12月29日(木)から新年1月3日(火)まで休止します。

また、本荘警察署でも運転免許関係の業務を同期間休止しますので、ご注意ください。

冬期の二輪免許試験を休止

冬期間は積雪と路面凍結により滑走事故等の危険性が高いことから、二輪運転免許試験を12月1日(木)から新年3月15日(水)まで休止します。

ただし、指定自動車教習所卒業者並びに免許失効者で試験の一部免除の適用を受ける方については、平常通り行います。

養田クラブが全勝優勝 室内ゲートボール親善大会



8チームが出場して行われた室内ゲートボール親善大会 (写真は決勝リーグ戦)

町ゲートボール協会主催の室内ゲートボール親善大会が、十一月二十七日健康増進センターで開かれました。八チームが出場し、四チーム総当たりブロック別予選リーグ戦の結果、上通、養田クラブ、田代老人クラブA、なかよしが予選を突破。決勝リーグ戦の結果、養田クラブが全勝で優勝、以下は②上通③田代老人クラブA④なかよしでした。

対TDK戦で惜敗 でも第3位に入賞 剣道愛好者募集中!

本荘市米まつり協賛行事の第二十九回芳賀・光山杯秋季剣道大会(11月3日・本荘南中)で本町剣道愛好会が第三位に入賞しました。準決勝は強豪のTDKと対戦、二対一の惜敗でした。また個人戦でも健闘し会長の長沼久利さんが第三位に入賞、郡市強化選手に選ばれました。同愛好会は現在会員三名で、会員を募集しています。連絡は☎六九・二一七七・長沼まで。



第3位に入賞した町剣道愛好会

まちかど スナップ



みどり保育園「たのしみかい」撮影・広報担当

みどり保育園で11月27日年に一度の「たのしみかい」が開かれました。会場には大勢の家族が詰め掛け、歌、合奏、ゆうぎ、劇と、つぎつぎと飛び出すチビッコたちの名演技に拍手を送っていました。写真は「たのしみかい」のメインプログラムの一つで、年長・ひまわり組によるゆうぎ「春太鼓・秋太鼓」。太鼓にあわせバチを振り、飛び跳ねるチビッコたちには、ひととき大きな拍手が送られました。

町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん



向田・さとあけみさん (6さい)

伝承・昔の遊び ⑨

パッチ打ち

小倉・遠藤三代治さん (62歳)



メンコ遊びともいわれるパッチ打ちは明治から昭和初期が全盛期で、子供たちにもっとも親しまれ



絵・石渡力造さん

四季折々に、通勤の途中などに自然の移り変わりを目にしては、ふと田舎の風物を思い出す▼木枯らしの季節となった。木枯らしから連想するのは、冬の吹雪道。道の無い雪道を歩いて通学したつけ



千葉県沼南町・宮野忠さん (51歳・横小路出身)

ふるさとを想う ⑨

木枯らしの季節を迎えて

▼雪の季節になると、馬そりがトラックの代わりをしていた。バスなどの車が走らないのは当たり前で、4ヶ位の道なら、皆、気軽に歩いたものだ。▼自然に鍛えられて、風邪を引いたりすることもほとんどなかったような気がする。それが、田舎で過ごした若い年頃のせい、鍛え方のせい、定かでないところもある▼最近、よく風邪を引くようになった。しかも、一旦、引いたら、なかなか直らない。これは、年のせいばかりでもないような気がする。こんな話も、先日のバス旅行の車中で東由利会の皆さんが話題にしていた。

た遊びです。武者絵の丸い厚紙製のパッチを勢いよく地面に打ちつけ、相手のパッチを裏返しにすれば自分のものにできる。など、遊び方は様々。強いパッチ、弱いパッチと仕分けして、みかん箱一杯にためこみ、宝物のように大事にしたものでした。庭先や納屋の隅から、元気のよい子供たちの歓声が聞こえてくるような懐かしさです。



ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 ⑨

バーゲンの仕組みは…

今やバーゲンは日常茶飯事。

よい品が安く買えるなら交通費をかけて買いに出掛けても惜しくはありませんが、安物を安く買っては買物上手とはいえませんが、年末年始はバーゲンのシーズン。バーゲンの仕組みを知って買物上手になりましょう。

バーゲンは普通の場合、そのシーズンの売れ残り、昨シーズンの持ち越し品、バーゲン用に作られた仕入れられたものの三種で構成されています。これを見分けるためには、普段

からよく売場の商品を見て、流行、生地、デザイン、縫製などを知っておくことが大切です。安い値段で売られるために、生地や縫製の質を落として価格に合わせた商品が作られていることが多いからです。本当に売れ残った安くしたものは、サイズや色柄が不足していることが多く、反対にあまりにもそろいすぎているときには「バーゲン用」の品と疑ってみる必要があります。バーゲン用に仕入れたものでも、品質がよければ問題はありません。

※国民生活センター「くらしの豆知識」から

健康ライフ

子どもとカゼ

指導・小松医院・小松良竹先生



子どもと大人ではいろいろな病気に対する反応性がちがってきます。カゼについても同じで、すなわち子どもがかぜにかかると、しばしば中耳炎を併発します。冬期に多く、原因はのどなどにある細菌が中耳に感染を起こすため発病すると考えられています。また子どもはカゼをひいても、なかなか静かにしておらず、中耳炎を起こしやすい。特に幼児の場合は肺炎を起こしやすいので、周囲が注意して、安静をとらせるよう努力しなければなりません。



子からホンネ本音親から

八塩小四年
小松嘉幸くん

ぼくは、いま算数の勉強をがんばっています。どうしてかというと、国語や理科はとくのですが、算数は一番苦手な科目だからです。テストではいつも、あわてたり、考えないでやっけてしまい、まちがってしまいます。だから、算数をもっと勉強して、テストでいい点数をとりたいです。



ぼくからお父さんとお母さんへのお願いがあります。それは、家族みんなが旅行にいきたいことです。



館合新田
小松由美子さん

毎日の勉強はきちんとやってほしいものです。

四年生は、小学校生活でいちばん大切な学年ですから、もっとまじめに勉強してください。

もぐり料理でミニケーキ

きんかんの皮にはビタミンAとCがたくさん含まれています。昔から咳にもきくといわれ、きんかんを水と砂糖でせんじたものを熱いうちに飲んで、薬にしていたそうです。

おせち料理にきんかんの甘露煮を

〔材料〕
きんかん……………五〇〇g
砂糖……………二〇〇〜二五〇g（きんかんの重さの四〇〜五〇％）
水……………カップ一

- ①きんかんは包丁の刃先で縦五ミリ間隔に切り込みを入れます。こうすると種が出しやすく、苦みが早く抜けます。
- ②たっぷりの湯で二〜三分ゆでます。ゆで汁は捨てます。
- ③きんかんは上下から指で押しつぶし、竹串などを使って種を取り

- ④鍋にきんかんを水を入れてふたをし、中火で軟らかくなるまで煮ます。
- ⑤砂糖を三〜四回に分けて加え、こげつかないように、ときどき上下を返しながらかき混ぜます。
- ⑥冷蔵庫に入れば一〜二ヵ月もちます。

長く保存するときは、消毒したビンにきんかんを入れ、別に作ったシロップ（水カップ1/2、砂糖一〇〇g）を熱いうちに注いで脱気、殺菌します。こうすれば冷蔵庫で一年はもちます。

指導・ベターホーム協会

みんなの健康



有害なタバコ 今一度考えて…

近頃、喫煙の時間と場所を限定とする「分煙」運動を実施している職場についての新聞記事や、健康に関するテレビなどにおいても喫煙に対し、問題視されてきています。

これは、日本人の死因のトップの座にある「がん」の中でも、圧倒的に多かった胃がんによる死亡が減少してきたのに対し、肺がんによる死亡が急増してきたからです。



肺がんの最大のリスクは「喫煙」ですが、喫煙は肺がんだけでなく喉頭がん、食道がん、心筋梗塞などの成人病となる危険性を高めています。また、非喫煙者に対しても同じような悪影響を与えています。

「百害あって一利なし」といわれる「タバコ」。喫煙者自身の問題にとどまらず、周囲の人たちにも有害なのです。

愛煙家のみなさん、タバコについて、もう一度考えてみてはいかがでしょうか？

（保健婦・高橋鈴子）

東由利の文芸

ゆりかご句会十月句会から

- ◆ひっそりと咲きしりんどう陽をかえす 遠藤トミ子（小倉）
- ◆虫の音や古人に還す碧祥寺 小笠原亮子（蔵新田）
- ◆秋蝶も師を弔うか碑のほとり 小松メサコ（下小路）
- ◆サルビヤの花の里なり秋晴るる 遠藤トミ子（新処）
- ◆秋まつり果てて気抜けの風過ぎる 高橋ヒデ子（横渡）
- ◆稲架襖見えかくれて小提灯 小松鉄太郎（下通）

初孫です

蔵新田・小野沙也佳ちゃん・11ヵ月一さんと洋子さんの長女



おばあちゃん・キヨさんから「何でもよく食べ好き嫌いの心配はないです。だからこんな丈夫。とくに野菜が大好きなんですよ」

町民カレンダー

- 6・青年スポーツ交流大会開会式
(健康増進センター)
- 6・館合地区栄養改善学級
(玉米支所)
- 7・生ワクチン
(有鄰館)
- 9・三歳児健診
(同)
- 12・健康大学
(同)

- 14・乳児検診
(有鄰館)
- 15・保健対策推進協議会
(同)
- 15・心配ごと相談所
(朋楽荘)
- 20・12月定例町議会
(役場)
- 21・二歳児健診
(有鄰館)
- 22・機能訓練教室
(同)
- 27・4カ月クリニック
(保健所)



歳末たすけあい運動
(12月1日～31日)

11月★町のミニ統計

(10/1～10/31)

- 人口()は前月比
- 男 2、936人(1)
- 女 3、058人(△6)
- 計 5、994人(△5)
- 世帯数1、439戸(△3)
- ()は1月からの累計
- 出生5人(45) ●死亡3人(47)
- 転入4人(78) ●転出10人(151)
- 結婚3組(14) ●離婚1組(1)
- 火災0件(2) ●救急車出動5件(74)
- ごみ処理量31t(290)
- 交通事故1件(13) ●死者0人(0) ●傷者1人(18) ●飲酒運転0人(1) ●酒気帯び0人(3)

郷土の野草

文・写真 小松忠正



カラハナソウ

(クワ科)

山地の樹下に生える蔓性で、雌雄異株の多年草です。葉は互生し、三つ七裂に裂け、長い柄があります。雄花は小さい黄色で穂状に茎の先のほうに咲き、雌花は薄緑色の球状に集まり七八月開きます。和名は「唐花草」で、花が模様に使われたのでいいます。写真は野生種(大吹川で撮影)で、母種のカラハナソウはホップといい、ピールの苦味をつけるときに使い栽培されます。ホップ腺には健胃、鎮静、利尿作用があります。

善意

町社会福祉協議会にご芳志として高橋タエ子さん(上通)、小野泰宣さん(寺田)から金一封、文化祭バザー収益金の一部として東由利中学校生徒会から二万七千五百三十円が届けられました。

町民カレンダー

ピックアップ



第一回青年スポーツ交流大会が十二月六日から来年三月五日までの夜間、健康増進センターで計十五回開かれます。時間は午後七時～九時で出場チームはすでに申し込みの八チームです。選手は町内の青年男女で、青年の交流の場にと町農業総合指導センターなどの主催で開かれるものです。

戸籍だより

(10/1～10/届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

- 10/4 千葉 和也(源治・長男)桂台
- 10/5 高橋 隆輔(隆敏・長男)下小路
- 10/6 谷口 真規(司・三女)上通
- 10/7 伊東 幸恵(幸寛・長女)蔵新田
- 10/8 赤川 雄祐(龍範・長男)横小路
- 10/9 堀 敏博(山形市)
- 10/10 畠山 伸子(袖山)
- 10/11 畠山 守(上通)
- 10/12 遠藤由美子(小倉)
- 10/13 佐藤 幸輝(荻沢)
- 10/14 佐々木昌子(田代)
- ごめい福をお祈りします
- 10/15 小野ハツエ(73・泰宣・母)寺田
- 10/16 浅田タケヨ(79・民義・母)舟木
- 10/17 高橋チヨノ(94・タエ子・母)上通
- 10/18 小松 寿子(0・建一・二女)山崎
- 10/19 畠山三郎(89・勝郎・父)茂沢

悩みごと何でも相談

【相談】夫が事業に失敗し、借金を残してゆくえをくましました。その借金の責任を妻はどれだけ負わなければならぬのでしょうか。

【対応】原則として夫と妻は別々であつて、夫がいくら借金しようが妻は保証人になっていない限り支払う必要はありません。妻の借金の場合でも同じです。しかし例外が一つあります。

食料品、衣服、家具などの日常の家事に必要な範囲であれば、夫婦のどちらか一人が債務をつづけた場合でも、他方も連帯責任を負うことになっています。

(町心配ごと相談所)

編集室から

▼偶然ということとは

れにあるもの。というのは内山三郎先生が転出なされた住所と「ふるさとを想う」へお便りをいただいた宮野忠さんの住所は番地が違っただけ。宮野さんに電話でたずねてみたら、やはり目と鼻の先ほどの距離。内山先生のこととは小さいころからよく知っていると。稲作の冷害を取材して被害が思ったより少なくってほつとした。しかし個人差が激しく例年の半分しか収穫できなかった農家もいるという。農協の指導員は地力の増強など基本的技術の見直しを訴えていた▼先月号では大きなミス。刷り上がった広報紙の修正作業で課員らに迷惑をかけてしまった。今月は：校正は完璧？だが…。